

「冷やおろしマーダーズ 紹介文」

岡和田晃

『エクリップス・フェイズ』日本語版翻訳監修者の朱鷺田祐介による新作「冷やおろしマーダーズ」をお届けしたい。

これは朱鷺田祐介のユーモアSF「マーダーズ」シリーズの最新作である。

作中では、「ミートハブ・マーダーズ あるいは、肉でいっぱい宇宙(そら)」、「ウ  
イツプラッシユ・マーダーズ 殺人鬼はどこにいる?」、「10年目の贈り物」、「ス  
カイ・ア・ア・ク・マ・ーダ・ーズ」、「ドロップレット・マ・ーダ・ーズ」といった過去作とのリン  
クが示唆されている。

ただ、本作の姉妹編というのは、むしろ「品川蕎麦マ・ーダ・ーズ」ではないか。同作では蕎麦が扱われるが、今作では小麦を用いたうどんが中心的なモチーフになっているからだ。

一般に、SF的なガジェットをハードルが高いと思われる方も多いと聞くが、本作はむしろグルメ要素が強いので、そういった方に「軽いお話もあるよ」と紹介する役に立つかもしれない。朱鷺田祐介は今年4月、横浜で開催された「はるこん2017」でゲスト・オブ・オナーのケン・リュウに、「グルメSF」についての質問をするくらいには、このテーマにこだわりがあるようだ。

朱鷺田祐介も参加した「はるこん」でのケン・リュウのインタビューに関しては、「ポストヒューマニズム、紀貫之、ロールプレイングゲーム」というタイトルで「ナイトランド・クォーターリー Vol. 09 悪夢と幻影」にレポートが載っている。グルメSFについてのやりとりは紙幅の都合で割愛せざるをえなかったが、ケン・リュウも大いに興味があるということだった。